

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

No.	事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時) 平成27年	目標年 平成27年		
1	福岡県	6月の早播ができる播種適期幅の広い品種の育成について、生産性向上を含めた現地試験を実施するとともに、実需者と一体となって有望系統の加工適性評価に取り組む。	平成26年度	成果目標年度において、コンソーシアム候補を一つ形成する。	-	コンソーシアム候補が一つ形成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証展示ほ設置等検討会</li> <li>・立毛検討会</li> <li>・加工適性試験打ち合わせ</li> <li>・品種適性調査</li> <li>・先進地調査</li> </ul>	<p>現地実証試験に取り組み、加工適性試験及び加工適性検討会を通じて有望系統（ちくし豆5号）の絞り込みを行うとともに、実証試験や検討会を通じてコンソーシアム候補の形成を行った。</p> <p>また、事業終了後の平成27年度においても、実需者や試験場等の参画した加工適性検討会を実施し、引き続き取り組みを行っている。</p> <p>これらのことから、成果目標は達成していると判断される。</p>
2	熊本県	カキ「太秋」の11月中旬収穫技術の確立	平成26年度	成果目標年において、コンソーシアム候補を一つ形成する	-	「太秋」の計画的出荷のためのコンソーシアム候補を形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証ほ設置等検討会</li> <li>・技術現地検討会</li> <li>・果実評価検討会</li> <li>・成績検討会</li> <li>・実需者、消費者嗜好調査</li> <li>・重点技術対策の取りまとめ</li> <li>・コンソーシアム候補の形成に向けた連絡会議の実施</li> </ul>	<p>実証展示ほを設置し、11月中旬収穫栽培の栽培実証を行うとともに、消費地において、消費者嗜好調査やその結果も含めた実需者とのマッチング活動を行うなど、コンソーシアム形成に必要な情報収集や関係機関の意向把握等に取り組むことにより、コンソーシアム候補の形成に取り組むなど、成果目標は達成されたと考えられる。</p>
3	鹿児島県	鹿児島県徳之島町では、2009年から茶の新品種「サンルージュ」を導入し、品種が持つ機能性を活かした産地づくりを行っているが、品種の特性や栽培技術が確立されておらず、生産安定が図られていない。そのため、本事業を活用して、品種の栽培特性を把握するとともに、新たな商品開発に向けた実需者との連携を進める。	平成26年度	成果目標年度において、コンソーシアム候補を一つ形成する。	-	コンソーシアム候補が一つ形成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品種・技術の実需者ニーズ等適応性試験</li> <li>・摘採時期の違いによる成分調査</li> <li>・栽培・技術マニュアルの作成</li> <li>・栽培特性や成分分析結果を基に栽培マニュアルを作成し産地へ提供</li> <li>・産地ブランド候補の選定</li> <li>・候補選定検討会を開催</li> <li>・コンソーシアム候補形成活動</li> <li>・コンソーシアム候補の形成に向けた市場調査等の実施と実需者への情報提供等</li> <li>・実需者ニーズを踏まえた上での産地と関係機関でのコンソーシアム候補形成検討会の開催</li> </ul>	<p>実証試験、成分調査等から得られたデータから産地の生産指針（栽培・技術マニュアル）を作成し、産地へ提供することにより生産安定を図っている。</p> <p>また、市場調査等から実需ニーズを把握し、産地・実需者等の関係者と生産課題や販売戦略等について検討を行い、コンソーシアム候補の形成を図るなど、成果目標は達成していると判断する。</p> <p>なお、コンソーシアム実施体制における協議等については、事業終了後の平成27年度も引き続き行われているところである。</p>